

生駒市

創業支援(いこま経営塾)による雇用創出



2 取組の概要

いこま経営塾は以下STEP 1・2で構成されている。

● STEP 1 (R2.10~12) 経営に関する知識を習得

- 第1回 経営 ~ビジネスプラン作成~
- 第2回 販路開拓 ~マーケティング~
- 第3回 ①事業計画策定ワークショップ
- 第4回 財務 ~会計の知識~
- 第5回 ②事業計画策定ワークショップ
- 第6回 労務・人材育成
- 第7回 事業計画案プレゼン審査

● STEP 2 (R3.1~3) 新規事業の立ち上げを伴走支援

STEP1 第7回 事業計画案プレゼン審査を通過した5名に対して、経営の専門家1名と南都銀行行員1名が事業計画案のブラッシュアップの伴走支援を行う。

1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 本市は、平成19年をピークに従業者数は減少。商店数も平成6年ピークに減少し、働く場づくりが必要。
- ② 全国平均より創業比率は高い。一方で、隣接市である奈良市と比較して女性の就業比率は低い状況。創業を支援し創業による従業者数や商店数を増やすことが課題。
- ③ 産学公民金の連携による創業者支援施策を推進。
- ④ 重点分野は、企業誘致に頼らず地元企業が成長する環境をつくる事で雇用創出にもつなげる地域経済活性化策(エコノミックガーデニング：EGいこま)。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 受講者27名の内、17名が事業計画案のプレゼン審査に臨んだ
- 審査により、5名を選出。選出された5名それぞれに、経営の専門家1名と南都銀行行員1名が付き、事業案のブラッシュアップを伴走支援。
- いこま経営塾は、新規創業者・第二創業者の両者が参加可。審査を通過したのは、第二創業者に偏ってしまったのが課題。

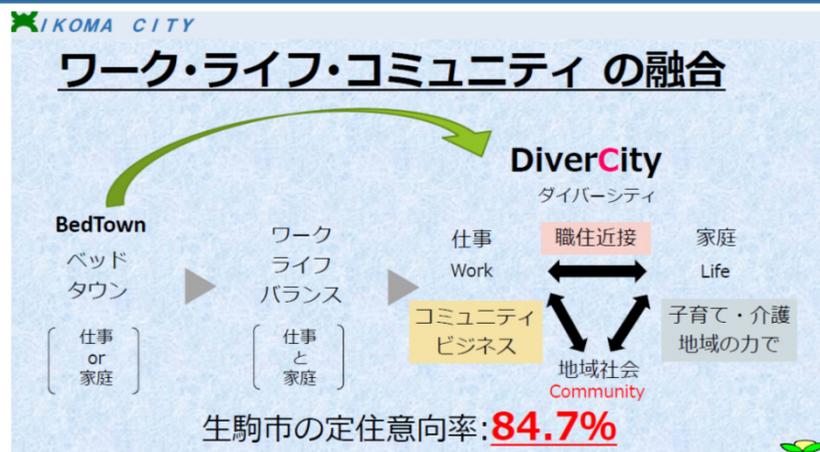
詳しくは 生駒市ホームページ
<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000023342.html>

生駒市

サテライトオフィス誘致による雇用創出



1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方



2 取組の概要

生駒市サテライトオフィス等開設支援事業補助金

目的：コロナ対策として企業が実施する分散勤務やテレワーク環境を支援し、職住近接の多様な働き方を促進するため、生駒市内へのサテライトオフィス進出を支援する補助金を創設。

補助金額：最大100万円の補助（開設費50万円+運営費50万円）

補助対象者の主な要件：

- ①生駒市外において事業を行い、正社員及び4人以上の従業員を雇用。
- ②新設するオフィスに従業員を1人以上配置。
- ③生駒市での仕事や暮らしづくり等をホームページやSNS等で定期的に情報発信できる。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 9月2日から1次募集を開始し、応募のあった2社について書類審査の結果対象事業者として決定。
- 大阪勤務から本市勤務になった社員はサテライトオフィス開設により創出できた時間を使って子供の送迎や地域活動に参加する時間をつくることできている。2社とも積極的にワークライフコミュニティバランス（以下WLCB）の推進をしている企業。
- 今後も、WLCBを推進している企業を積極的に誘致していくために、本市のPRを進めていくことが課題。

詳しくは 生駒市ホームページ
<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000023308.html>